

くらし

今回はなかなか手ごわい。まず、全体を見てからじっくりと一つずつ取りかかる。月曜日は仕事があるので、帰ってからの夜のお楽しみである。

これは北海道新聞朝刊くらし面に載っている「脳トレ」の懸賞問題の話です。テーブルの上に国語辞典、漢和辞典、四字熟語集を積み上げ、悩みながら解いていきます。一通りできたら答え合わせのために、姉に電話をかけて確認し、応募しています。

今、クイズにはまっています。この年になって、脳は確実に衰えてゆくのですから、活性化させなければなりません。解くために辞書が欠かせませんが、先日、三浦しをんさんの「舟を編む」を読みました。辞書の作り手の話です。

読んだ後、辞書を引くと、今



クイズと辞書

2022. 1. 4

までと辞書に対しての感じ方が変わりました。紙の手触り感が気になったり、作り手の苦勞を思ったり。まだ、知らない言葉がずいぶんたくさんあるものだと、日本語の奥の深さを知り、言葉を引く楽しみを味わっています。

それにしても、2、3千通の応募があるのですから、当選は無理だと思いつつながら、楽しくてつい、毎回応募してしまうのです。

クイズを解くのも大変ですが、それ以上に問題作りにご苦勞されているのですね。これからも挑戦し続けたいと思うので、すてきな問題をよろしくお願ひします。

宮本 陽子 (70歳・パート)

札幌市東区

投稿は女性のみ。600字。郵便、ファクスは「いずみ」係へ。宛先は紙面の上にあります。メールはizumi@hokkaido-np.co.jpへ。タイトル、住所、氏名（ふりがなも）、年齢、職業、郵便番号、電話番号を明記。二重投稿は厳禁。加筆・修正する場合あり。掲載分は「どうしん電子版」とデータベースに収録。原稿は返却しません。